一宮市国際交流協会（iia）ニュース

かけはし

iia
ichinomiya international association

vol.104
2026.11



イタリア出身国際交流員が
交代しました。
よろしくお願いします♪

Instagram
Facebook
Website

一宮市国際交流協会

Ciao! フランチェスカです
～新任イタリア国際交流員のあいさつ～

一宮の皆さん、Ciao! イタリアから来た新しい国際交流員のルダイ・フランチェスカです。

一宮市の友好都市トレビーゾ市と同じ県にあるConeglianoで生まれ、23歳までそこでずっと生活を送りました。Conegliano はProseccoというワインで有名な都市であり、Valdobbiadeneの葡萄畑はユネスコの世界遺産に登録されています。

小学校時代はイタリアのテレビで放送されていた少女アニメや魔法少女を毎日見ていました。それがきっかけで、イタリアでヴェネチア大学の日本学科に入学しました。

イタリアの大学を卒業したあと、日本の文部科学省(MEXT)の奨学金を受給し、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科(GSAPS)に進学しました。そこで、SDGsに対するEUと日本の取り組みや政策比較の研究を行いました。



これからは、新しい国際交流員として、イタリアの魅力を一宮の皆さんに知っていただけるよう、さまざまな活動を通して精一杯頑張りたいと思います。

イタリア語講座〔Ciao! はじめてのイタリア語〕

i-ビル3F　市民活動支援センター　6月27日

参加者20人、少々狭めの教室で満員状態のなか、イタリア人国際交流員のキアーラさんが先生となり、旅行で役立つ言葉を中心に講義は進んでいきました。



語学学習だけではなく、イタリアの北部と南部の食事の違いやイタリアの物価感覚、レストランの支払い方法ではクレジットカードや電子マネーよりも現金が多いなど、本国の人でないとわからない事柄を交え受講生は興味津々でした。

レストラン事情では、アレルギーの有無の聞き方も題材として出てきました。最近ではグルテンフリーの食材が多いようですが、まだまだ一般的ではなく、さすがにグルテンいっぱいのパスタやピザが食べられない人は辛いものがあるようです。

最後にイタリア語のメニューを見ながらの実施編がおこなわれました。基礎編で習った挨拶を店員と交わし、メニューを見ながら注文するところを受講生全員一人ずつ言ってもらう演習で締めくくりとなりました。



わかりやすく、楽しくイタリア語に触れることができました。キアーラさんのイタリア語教室をもっと開催して欲しいと思いましたが、七夕まつりが終わると一宮を離れるとのことで、寂しい気持ちで教室を後にしました。

グラッチェ！　（あんちゃん）



ニュージーランド料理セミナー
～ Sweetcorn Fritters&Carrot Cake ～



尾西生涯学習センター　料理実習室　9月13日

講師：アリスさん

助手：フランチェスカさん

今回のメニューはアリスさんの両親がニュージーランドで営んでいたカフェで人気の料理、キャロットケーキとスウィートコーンフリッターです。

最初に中力粉を使ったケーキ生地を焼き、その間にクリームチーズで飾り用のアイシングを作ります。つやを出すコツを教わりながら、ハンドミキサーの羽根に残ったクリームをみんなでペロッと味見していると、オーブンからいい香りがしてきて思わず笑顔が広がりました。



2品目はコーンたっぷりのフリッター。フリッターというと衣をつけて油で揚げたものを想像しますが、フライパンで焼き上がったのは、まるでお好み焼きのような見た目。サワークリームをつけて食べます。「おいしいけれど、この味をなんと表現したらいいかわからない」「食べたことがない味！」といろんな感想がありました。添えられたサラダのバルサミコ酢を使ったドレッシングも好評でした。



この料理セミナーの開催前にアリスさんと国際交流協会クッキング班のボランティアが練習会を行いました。そこでニュージーランドで使う調理器具のチーズグレーターは日本の家庭ではあまり見かけないので、カフェで出されていたキャロットケーキと同じ食感を出すためにいろいろ工夫しました。ミキサーで砕いた人参とすりおろした人参を合わせることで焼き上がったときに、納得のいく食感と味になることがわかり、こだわりの今回のレシピになりました。



食べ歩きをするくらいキャロットケーキが大好きだという参加者は「今まで食べた中で一番おいしいかも。ナツメグやクローブを入れてもおいしいと教わったので、家でも作ってみます！」と言っていました。また「とてもゆったりした空気感の中での料理作りはとても心地良かった」との声も聞かれました。（伏原）





IIAワールドスターフェスティバル

7月24日

【i-ビル7F シビックホール 七夕ステージ】

7月23~26日「第71回おりもの感謝祭 一宮七夕まつり」の中での開催。国際交流員のキアーラさんにとって最後の七夕になることから、イタリアの音楽と踊りをテーマにしました。お馴染みのアコーディオン奏者アンジェロ・アクィリーニさんの演奏、またキアーラさんと来日されたお母様に踊りを披露いただきました。



イタリアの祭りや料理などの文化を紹介する軽妙なお話を交えながら、イタリア南部の波の音を表現した静かな曲、中部の盆踊り風の曲。そして最後3曲目の北部の曲では、7つのステップがだんだんアップテンポになる踊りに、お客様も加わって盛り上がりました。短い時間ではありましたが、日常生活の中に常に歌と踊りがあり、いつも陽気なイタリアの雰囲気が十分に味わえました。



アクィリーニさんは「普段は控えめな日本の方が今日はノッて下さり、コラボできて嬉しかった。一宮の皆さんは明るくて大好き」と、またお母様も「一緒に踊っていただき楽しかった」と喜んでおられました。

今後も七夕まつりでは、屋外での催しとともに、涼しいホール内で国際交流のひとときが過ごせるとよいなと思いました。　（Takaya）



英語放送アナウンサーボランティア体験談①

高校1年生　谷口 咲希 さん

毎年楽しみにしている一宮七夕まつりの、英語放送ボランティアに挑戦しました。これまでは毎年お客さんとして訪れていましたが、今回は支える側として関わることができ、とても嬉しかったです。

当日は、案内所や休憩所の案内、熱中症予防などについて、日本語と英語の両方で放送しました。たくさんの人が聴いていることに最初は緊張しましたが、自分の声が実際に流れているのを聞くと、少しずつ落ち着いて話せるようになりました。後日、両親や友達から「放送聴いたよ！」と言ってもらい、とても嬉しかったです。

毎年楽しんでいた大好きな一宮七夕まつりに、まつりを支える側として関われたことは、私にとってとても貴重な経験になりました。



一宮七夕まつり体験
Discover TANABATA

7月25日





一宮市国際交流協会のボランティアさんが外国の方を案内して、一宮の七夕を体験してもらうというイベントが開催されました。

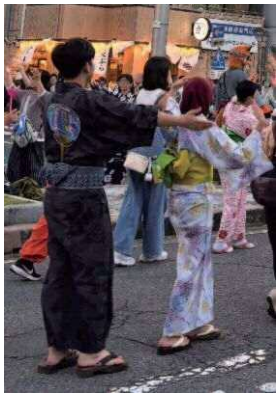
当日の参加者は、外国人は主に岐阜大学の留学生を中心とした34名、ボランティアさんは11名で、9グループに分かれて、七夕まつりが繰り広げられている街を散策しました。

まずは真清田神社隣のスポーツ文化センターに集合し、希望者は浴衣を着せてもらいました。そして引率するボランティアさんと対面したあと、それぞれ出発しました。

真清田神社では、ボランティアさんから真清田神社についての説明を聞いたあと、手水舎で手などを清めて参拝しました。

御衣奉献大行列が本町商店街に来たので見物。昔ながらの装束に身を包んだ人々が通ってゆき、神職の衣装を着た人が、ヒジャブの参加者に「楽しんでね」と声をかける一幕もありました。

夕方7時に盆踊りが始まったころには、みんな駅前ロータリー周辺に集まって、盆踊りを眺めたり、元気な人たちは一緒に踊ったりしていました。観客と踊り手の境がなく、みなで一緒に踊るのが印象的だったようで、アンケートでも、みなさん「Bon-odori Dance」が楽しかったと挙げていました。（日野）





英語放送アナウンサーボランティア体験談②

高校3年生　中村 玲菜 さん

一宮七夕まつりで、英語放送アナウンスのボランティアに参加しました。

当日は、熱中症への注意喚起や、喫煙場所の案内を日本語と英語で行いました。放送は緊張しましたが、学んできた英語が来場者の役に立つことに喜びと達成感を感じました。

また、多くの人の協力で七夕まつりが支えられていることにも気づきました。この経験から、英語は人と人を繋ぐ手段であり、相手に伝えようとする気持ちが大切だと学びました。

これからも英語を活かし、地域に貢献していきたいです。

ボランティア活動について▶ラジオの取材を受けました。



2泊3日ホームステイ体験談

8月21日～8月23日

一宮市内の日本語学校に通う外国人留学生に日本の家庭生活や文化を知ってもらうとともに、一宮市民に異なる文化・習慣について理解を深めてもらうことを目的として、2泊3日のホームステイを実施しました。

Puri Ranjanaさん

（ネパール出身）

とても楽しいホームステイでした。ホストファミリーがとても親切で、家族のように温かく接してくれて、うれしかったです。

日本の文化や生活についても知ることができて、いい思い出になりました。本当にありがとうございました。また参加したいです。



（写真左から2人目）



（写真中央）

Nguyen Thi Hai Yenさん

（ベトナム出身）

ホストファミリーはとても親切で、たくさんのことを教えてくれました。

一緒に出掛けて、今まで食べたことがない料理をたくさん食べました。一緒に日本料理を作り、とてもおいしくて残さず食べました。

私は日本が好きです。

Baniya Jitendraさん

（ネパール出身）

ホストファミリーのみなさんはとても親切で、いろいろなことを教えてくれました。日本の文化や日本の料理など、たくさんのことを学ぶことができました。一緒にたくさんゲームをしたり、楽しく話したりして、本当に楽しかったです。

みなさんと一緒に過ごすことができて、とてもいい思い出になりました。素晴らしい時間をありがとうございました。



（写真左）

おとなりさん

今回はスリランカから来たテンナコーン・マヘーシャさんと奥さんのティリニさんを紹介します。スリランカは紅茶やシナモンが有名で昔はセイロンと呼ばれていた島国です。

マヘーシャさんは3年前に、ティリニさんは2年前に5歳の息子と一緒に日本へ来ました。ふたりの出会いは高校生の時。大学卒業後、12年間の愛を育みめでたく結婚しました。ふたりとも海外に住みたいという夢があり、安全で物価が安く、子どもが育てやすい日本を渡航先に決めました。

マヘーシャさんは看板のデザインや施工を手がける会社で技術者として働いています。一宮市は静かで、公園やスーパーもたくさんあり便利で好きだが、夏の暑さには閉口しているとのこと。

直近の目標は日本語能力試験N1合格、そして今の会社と仕事はとても好きなので、将来的にはここで昇進したいと目を輝かせていました。ティリニさんは、子どもが優しく才能豊かな人になるよう育てたいと言っていました。



家族そろって日本での生活を満喫してほしいと思います。 (katsu)



スリランカの「こんにちは」

スリランカには公用語が2つ、共通語が1つあります。

公用語 シンハラ語 ：ආයුබෝවන් (アユボワン)
公用語 タミル語 ：வணக்கம் (ワナッカム)
共通語 英語 ：Hello (ハロー)

iia information

i-ビル14周年祭にブース出展します

大人も子どもも楽しめる、世界各国に関するステージパフォーマンスやクラフト体験を実施。例年のフレンドシップフェスティバルに代えて、今年はi-ビル14周年祭に合わせて賑やかに行います!

▼日　時／11月27日(金曜日)　午前10時30分～午後4時
▼場　所／尾張一宮駅前ビル(ｉ-ビル)3F　シビックテラスおよび市民活動支援センター内

English Free Talk

参加者同士で英会話を楽しみます。事前の申込みは不要です。

▼日　時／12月4日(金曜日)　午後6時～7時
▼場　所／神山公民館　大会議室



国際交流ふれあいボウリング

日本国籍の方と外国籍の方が一緒にチームを組んでボウリングを楽しみます。

▼日　時／2027年1月31日(日曜日)午後2時～4時
▼場　所／アソビックスびさい

お申込みはこちら

＊各イベントの詳細につきましては後日ウェブサイトにて公開いたします。

地球あっちこっち

氷点下の世界・カナダ

鵜飼 伊豆美 さん

私は、2017年にカナダ・ブリティッシュコロンビア州のピースリバーという地域にワーキングホリデーに行きました。



カナダへは初めての滞在で、“寒くて大自然の国”とは思っていたものの、実際に訪れると想像を超える環境でとても貴重な体験をたくさんすることができました。その中でも印象深いのが、町の名前にもなっているピースリバーという川を車で渡ったことです。



写真のようなとても大きな川が町のシンボルになっているのですが、冬場は完全に氷ついて川の上を横断することができます。それを利用して、川のあちこちではアイスホッケーを楽しんだり、小さい子供たちもスケートの練習をしたりします。

右の写真は、子供向けのイベントでメイプルシロップを氷の上に垂らしてキャンディーにしているものです。数秒もすればメイプルシロップはカチカチに凍ってしまうので、固まってしまう前にキャンディー棒に巻き付けるのはなかなか難しくて、でも楽しいおやつ体験でした。



ピースリバーでの生活は毎日氷点下で、仕事に行くのが大変だと思ったこともありましたが、そんな環境でも楽しく外で遊んだり交流したりと…今となっては考えられない世界ですが、そんな中でも生活できていたことに不思議な気分と驚きと感動がありました。実際に行ってみないとわかり得ないことは、まだまだたくさんありそうです。



編集後記

AI(人工知能)の勢いが止まりません。かつて学生時代コンピューターについて学んだとき、機械が人間に勝る能力を手にしたとしても人間の想像力がある限り大丈夫…と思った私ですが、いざ自分でAIを体験すると「機械なんかに負けちゃダメだよ・・・」と呟く私がいます。（you都市）

発行：一宮市国際交流協会（〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル3F 市民活動支援センター内）

一宮市の国際交流協会の中心となって活躍いただく親善ボランティアを随時募集しております。
みなさんも親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。
＊この「かけはし」も親善ボランティアにより取材・編集されています。
ご意見・ご感想をお待ちしております。【TEL:0586-85-7076　E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】
当協会に関する情報はウェブサイトをご覧ください。【WEB:https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/】